

# 「住まいの相談会」を開催します

皆様の住まいに関するお悩み、お答えします！

- 建替えの助成制度があることは知っているけれど、自分は対象になるのでしょうか？
- 固定資産税や都市計画税の減免があるらしいけれど、どのような内容なの？
- 建替えたいけれど、相続問題が解決していません。どうすればいいの？

建替等の  
各種  
相談に  
ご活用  
下さい  
等

地区内の建物の不燃化の促進に向けて、「住まいの相談会」を開催し、老朽建築物の除却や建替え、権利関係や相続問題に対する相談を行います。今年度は6回実施します。

## 【第2回開催日時】

- ①平成29年7月28日(金)  
午後7時から午後9時30分まで  
※受付：午後6時45分から午後8時30分まで
- ②平成29年7月29日(土)  
午前9時30分から正午まで  
※受付：午前9時15分から午前11時まで

## 【場所】

ムーブ町屋 4階会議室B  
(荒川七丁目50番9号)  
※下地図をご参考ください。



第1回住まいの相談会ミニ講座の様子

## ミニ講座「建替えるとどう変わる？相続税」

相談会の冒頭にミニ講座（30分程度）を開催します。今回は、住まいに関わる税制度にスポットをあて、建替えた場合と建替えない場合でどのような違いがあるのか、近年の税制度の改定などについて取り上げながら解説します。税に関わる事項で不明なことがあれば、個別にお答えする場を設けています。是非この機会にいらしてみてください。

※事前に下記お問合せ先までご予約いただきますと当日のご案内がスムーズになります。



## お問い合わせ先

荒川区 防災都市づくり部 防災街づくり推進課 防災街づくり係 (区役所北庁舎2階⑭窓口)  
電話：03-3802-3111 (内線 2828) / FAX：03-3802-4104



発行：荒川五・六丁目地区防災まちづくりの会  
編集：荒川区防災都市づくり部防災街づくり推進課  
(協力：ランドブレイン株式会社)  
通巻第66号 平成29年7月

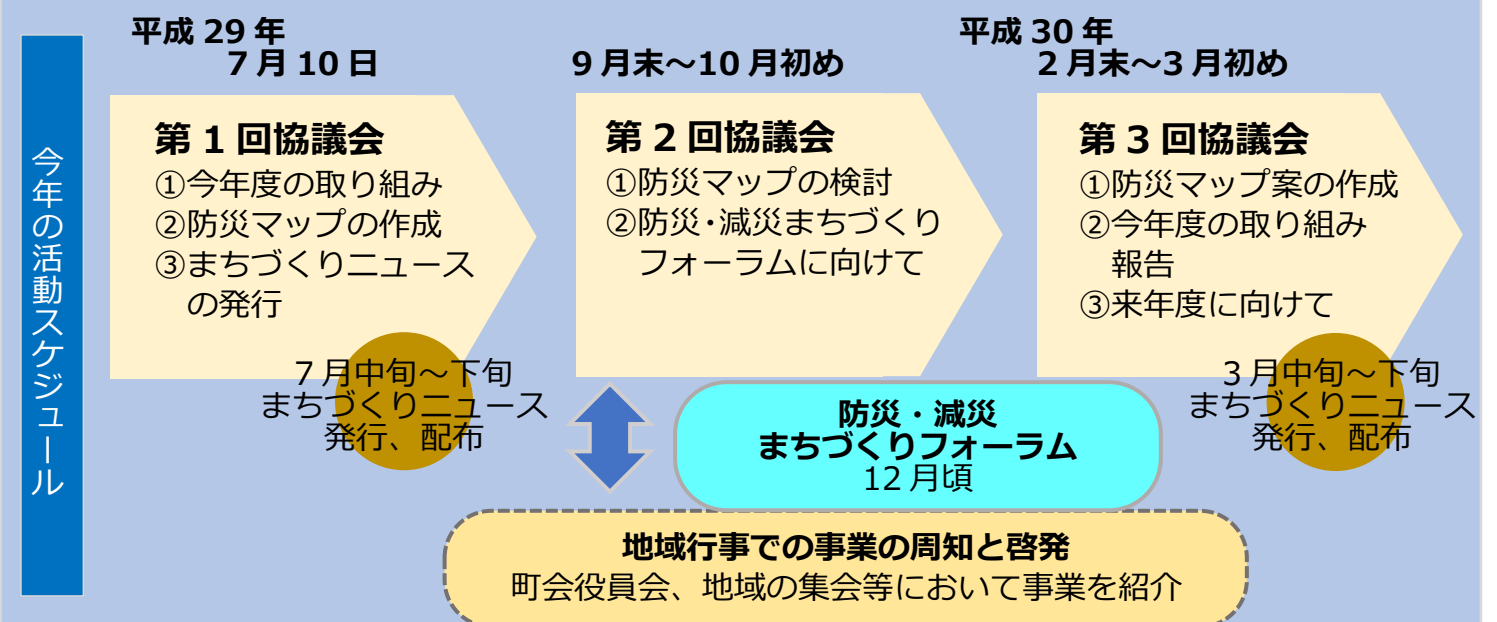
## 平成29年度の取り組みについて

地元の皆さんでつくる「荒川五・六丁目地区防災まちづくりの会」では、防災まちづくりに関する取り組みを行っています。7月10日(月)に実施した第1回(通算30回)目のまちづくり協議会において今年度の取り組みを協議し、以下のとおり決定しました。

- ①まち歩きの結果を反映した防災マップ※をつくり、防災まちづくりの機運をさらに高める
- ②地域で重点的に展開している防災まちづくりの事業を幅広くPRする



※防災マップの検討のようすは次のページをご覧ください。



# 第1回まちづくり協議会で「暮らしと防災マップ」について検討しました

- 昨年度の「まち歩き」の成果を踏まえ、「暮らしと防災」に関連する情報を追加することになりました。
- いつもの暮らしの中にある災害時に役立つものを見つけ、防災に結び付けることで、防災を身近なものにしたいと考えました。

## マップ作成の視点と内容

### 1. まちの自慢を紹介する…自慢は災害時の強みになる

<いつもの暮らし>	<いざという時>
お祭りや社寺・記念碑などの伝統や歴史を紹介する	災害時の拠り所、応急活動の連携プレーなどに役立つ可能性を秘めている

### 2. まちの成り立ちと特徴を活かす…地域独自の災害対策がある

<いつもの暮らし>	<いざという時>
まちができた頃からある狭い道路を広げ、公園などをつくって、少しずつまちを良くする	避難路や防災広場などとして利用でき、安心・安全なまちになる
建替でまちなみを新しくする	壊れにくく燃えにくいまちになる
人のつながりの場である町会会館を周知する	地元の防災活動の拠点になる

### 3. 暮らしに必要な施設やものをそろえる（工夫する）…災害時には心強い味方になる

<いつもの暮らし>	<いざという時>
幅が広く安全で便利な道路を整備する	物資の輸送や避難のみち、火災の燃え広がりを防ぐなどの災害時の機能が発揮できる
小学校や福祉施設、病院などを利用しやすく維持する	一次避難所、二次避難所、福祉避難所、災害拠点病院等として災害時に機能を発揮する

### 4. 地域の防災面での弱点を理解する……改善して安全にする、改善できない「危険なところ」は避ける

<いつもの暮らし>	<いざという時>
道路が狭く、古い建物が建て詰まっている	改善するまでは、場所を知らせ、できるだけ近づかない、通らないようにする
高いブロック塀、じゃまな電柱など、改善すべきところがある	

## 協議会で出た意見

2つのテーブルに分かれて話し合いました。



荒川五丁目のテーブル



荒川六丁目のテーブル

- ・ AEDは、今後、町会会館の屋外に置く予定もあるので、それも記載したらどうか。
- ・ 情報が多すぎると見づらいので、見やすいようにまとめ方を整理すべきではないか。
- ・ 公園広場は正式名称でなくても、らくだ公園、こいのぼり公園などの、地元で親しまれている呼び名が良いのではないか。
- ・ これまでの防災街づくりの成果や取り組みの説明を記載したらどうか。

- ・ 何に使うか、を考えて記載方法や内容を決めないといけない。
- ・ D級ポンプの場所をマップに記載すべき。火災時の初期消火に役立つ。
- ・ 掲示板は町会のものと区のものがある。区分が必要だ。
- ・ マップは町会ごとのほうが使いやすいのではないか。
- ・ いろいろ書きこむと文字でかくれてしまうことになる。表現を工夫する必要がある。

## 今後の検討の流れ

- 第1回協議会で出された意見を反映し、第2回協議会（9月末～10月初め）でさらに検討します。第3回協議会（平成30年2月末～3月初め）で防災マップ案を作成し、内容が決定された後、地区の皆様公表・配布を予定しています。

第2回協議会  
(検討)

第3回協議会  
(防災マップ案  
作成)

(来年度以降)

内容の  
決定後

公表  
配布

新たに「荒川五丁目」防災スポットが整備される予定です。

